

# 教育研究体制の整備

## 教員業績評価の実施

工学研究院・工学府・工学部の教育研究の成果をより高めることを基本的な目的として、助手以上の常勤教員を対象に2002～2004年度(研究に関しては2000～2004年度)の教員業績評価を2005年7月～9月に実施しました。教員個人を対象とした業績評価は、本学では工学研究院が他の部局に先駆けて実施されたものです。

評価は【教育】・【研究】・【社会活動】・【管理運営】の4項目について、当該教員が所属する学科等の実状を熟知し

た内部評価委員により行われました。評点区分および評価基準は細分化せずに、S: 群を抜いて貢献している; A: 貢献している; B: 貢献が不十分であり改善の必要がある、の3段階としました。今回の評価結果は特別昇給や勤勉手当に反映され、学部教育に関する評価結果はベストティーチャー選定の基礎資料としても活用されました。工学研究院の教員業績評価は3年毎に行われ、次回は2008年春に実施を予定しています。

## 新しい教育研究組織

### 「未来情報通信医療社会基盤センター」の設立

2002年に文部科学省の21世紀COEプログラムに採択され、また現在の学際プロジェクト研究の一つの「情

報通信技術に基づく未来社会基盤創成」の継続的な発展と外部機関との連携による「横浜国立大学未来情報通信医療社会基盤センター」が設立されました。

# 教育研究組織の現状

## 工学研究院

工学研究に関わる教員により構成される組織で、3部門からなり、所属教員総数230名の内訳は右表の通りです。

所属教員数(2006年1月1日現在)					
研究部門	教授	助教授	講師	助手等	客員*
機能の創生部門	27	17	5	18	6
システムの創生部門	30	23	5	17	6
知的構造の創生部門	29	19	1	24	3
合計	86	59	11	59	15

客員\*は連携講座の客員教授・客員助教授

## 工学府

工学に関わる大学院教育を行う組織で、4専攻(11コース)からなり、在籍学生総数1,044名の内訳は右表の通りです。

所属大学院生数(2005年5月1日現在)		
専攻(コース)	博士前期課程 学生数	博士後期課程 学生数
機能発現工学専攻 (物質創製化学、物質機能解析化学、機能・構造材料工学、物質エネルギー安全工学)	215	40
システム統合工学専攻 (機械システム工学、海洋宇宙システム工学、化学システム工学)	236	49
社会空間システム学専攻 (建設システム工学、建築学)	146	33
物理情報工学専攻 (電気電子ネットワーク、物理工学)	279	41
その他	0	5
合計	876	168

## 工学部

工学に関わる学部教育を行う組織で、5学科より構成され、在籍学生総数は右表の通りです。工学部の専門教育は環境情報学府の教員の協力も得る体制の下に行っています。

所属学部生数(2005年5月1日現在)		
学科	学生数	第二部学生数
生産工学科	664	107
物質工学科	708	101
建設学科 (シビルエンジニアリングコース、建築学コース、海洋空間のシステムデザインコース)	601	
電子情報工学科	702	
知能物理工学科	397	
合計	3,072	208

## 事務系職員

事務部および各学科等に所属する事務職員は28名、技術部に所属する技術職員は29名です。